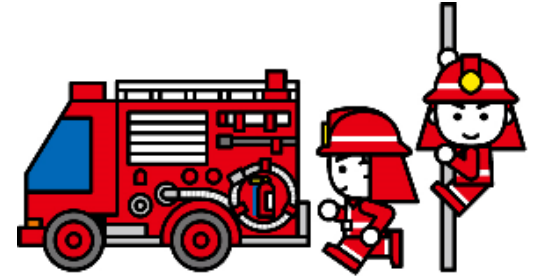


着衣着火に注意！



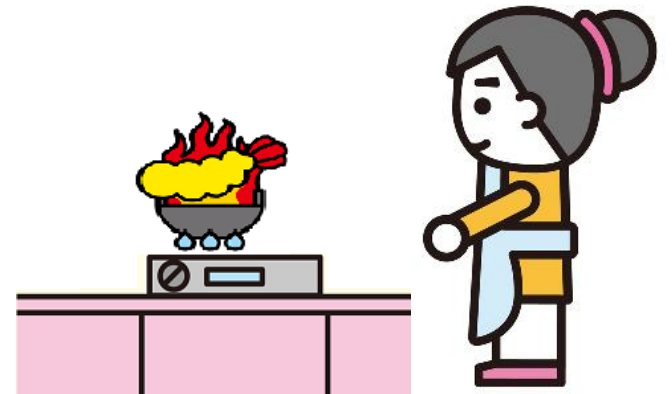
「着衣着火とは」

調理中のガスコンロの火や仏壇のろうそくの火などが、
「今着ている服」に燃えうつり、すぐに燃え上がる現象を
「着衣着火」と言います。
「着衣着火」は、ちょっとした不注意で誰にでも起こりうる
現象ですが、大変危険であるにもかかわらず、意外
と知られていない現象です。



着衣着火を起こさないために！

- 火を扱うときは、袖や裾が広がっている服は着火しやすいので避けましょう。
- ガスコンロの奥には調味料など、手に取る物を置くのはやめましょう。
- ガスコンロ越しの作業は大変危険です。必ず火を消してから行いましょう。
- 火が接しても着火しにくい、防災品のエプロンやアームカバーを使いましょう。



もしも「着衣着火」してしまったら！

- 手ではたいて消すことは困難です。すぐに水をかぶって火を消してください。
- 身辺に水がない場合は、その場に転がり地面におしつけて消火してください。
(倒れることで顔の前に火が上るのを防ぐ効果もあります。)
- 火傷をしてしまったときは、水道の流水で冷やしてください。



上記の点に注意し火災を未然に防ぎましょう！！

吉川松伏消防組合消防本部
予防課 予防係
048-982-3919